広報 いまかね

発行　今金町役場　　編集　企画室　　印刷　野宮印刷　　45.1.20発行



（新春の一日をスキーで楽しむ父子）

今金町民憲章

自然の恵み豊かにしていよいよ伸びゆくところ、それはわたくしたちの今金町です。

わたくしたち町民は祖先ののこした開拓精神と郷土愛とを受けつぎ、力を合わせ心をひとつにして理想郷の建設を念願し、この憲章を定めます。

民主主義に徹し生活を合理化して近代的な町にいたしましょう

健康で勤労にはげむ明るい町にいたしましょう

技能をみがき産業の開発に努め豊かな町にいたしましょう

教養をたかめ楽しく生活できる平和な町にいたしましょう

45年 1月

No.139

世帯と人口	
世帯数	2,865
人口	11,696
男	5,699
女	5,997

44.12.31.現在

総合的・計画的な 郷土の建設を



今金町長
安部義雄

七十年代に即応した町政

町民の皆さま明けましておめでとうございます。

一九七〇年代の夜明けともいうべき清新の昭和四十五年の初春を皆さまとともにお祝いできますことは、まことに喜びにたえません

ご承知のとおり、本年は激動の七十年代を迎え、国の内外の諸情勢極めて緊迫せるものと考えられます。

このときにあたり、町民の付託に応え時代に即応した町政の進展に心を新たにし最善の努力を尽くしてまいりたいと存じます。

昨年における農業については、参以来の農家各位の円精むなしく天候不順に災いされ、平年作確保不能と遺憾に存じますが、そのご苦労に対し深く敬意を表するものであります。さらに現在農業をめぐる諸情勢はまことにきびし　政府は農政の抜本的改革を迫られ総合農政の基本政策が実施されるものと考えられます

各農家におかれても農業の現状を正しく認識され、自ら経営の近代化、合理化を推進され、高度成長経済下の農家経済安定向上に一層のご努力をお願い申し上げます。

町といたしましても、本町の気候、土地利用等の自然条件から米作、酪農の振興をはかり、食糧基地としての使命達成の方針を堅持するものであります。

住みよい豊かな町づくり

また、住みよい豊かな明るい町づくりのため、継続あるいは新規の計画である国営かんがい事業、日進共同模範牧場事業、農林業の構造改善、緑化事業等の生産基盤の整備を始めとし、教育施設の整備、社会教育の振興、体育奨励等により次代をになう青少年の健全育成を図り、保健衛生、都市計画、交通安全対策、国保病院事業などの生活環境整備事業を促進させ、さらに観光資源の開発、近隣町村との交流路線の開発等、新規産業の開発を主題目標としてこの計画実施には本町経済の実態に調和した財政の堅実な歩みと相まつて全力を傾注する覚悟であります。

総合的、計画的町政の発展に存じますが、そのご苦労に対し深く敬意を表するものであります。さらに現在農業をめぐる諸情勢はまことにきびし　政府は農政の抜本的改革を迫られ総合農政の基本政策が実施されるものと考えられます

各農家におかれても農業の現状を正しく認識され、自ら経営の近代化、合理化を推進され、高度成長経済下の農家経済安定向上に一層のご努力をお願い申し上げます。

町といたしましても、本町の気候、土地利用等の自然条件から米作、酪農の振興をはかり、食糧基地としての使命達成の方針を堅持するものであります。

住みよい豊かな町づくり

また、住みよい豊かな明るい町づくりのため、継続あるいは新規の計画である国営かんがい事業、日進共同模範牧場事業、農林業の構造改善、緑化事業等の生産基盤の整備を始めとし、教育施設の整備、社会教育の振興、体育奨励等により次代をになう青少年の健全育成を図り、保健衛生、都市計画、交通安全対策、国保病院事業などの生活環境整備事業を促進させ、さらに観光資源の開発、近隣町村との交流路線の開発等、新規産業の開発を主題目標としてこの計画実施には本町経済の実態に調和した財政の堅実な歩みと相まつて全力を傾注する覚悟であります。

総合的、計画的町政の発展に

年頭にあたって



今金町議会議長
曽我井定一

昭和四十五年の年頭にあたり、議会を代表し謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

この年が真に本町産業経済の発展と町民福祉の向上の年であることを心から念願するものであります。

昨年は、本町の基幹産業である農業において生産者各位のご努力にもかかわらず、春以来の天候不順に災いされ平年作を確保できなかったことはまことに残念

声を町政に反映させ、町民福祉の増進とより豊かな人間らしい近代生活の安定のため、小職以下職員は自治精神に基づきその責任の重大さを自覚し、任務の遂行に勇気をもって総力を結集し事にあたる所存であります。

ここに皆さまのご指導ごべんたつをお願いし、あわせて各位のご健康とご多幸をお祈りしてごあいさつといたします。

策につきましては町理事者農委、農協が一体となつて努力をされておりますので生産者各位におかれては本年の営農計画に意欲的に取り組んでいただきたいと存じます。

なお、農政問題は国内、外の諸情勢よりして、今後きびしいものがあろうと思います。現在なお国の総合農政の具体策を見極め得ない状況にありますが、皆さまとともに本町の特殊性を理解せしめ主張すべきは強く主張していかなければならないと存ずるものであります。

さて、地方行財政の現状をみますと、地方自治の前度は漸次改善をみつつありますが、従来の自治行政のみならず社会情勢の急激な進展に伴つて広域行政、過疎対策または交通安全対策などの新たな需要が増大しておりますので、これらに対する諸施策の推進と財源付与について地方六団体を通じて政府に対し強く要請しているところであります

本町の懸案事項としては、長東線の国道昇格、白石・鈴刷線の道々昇格、三町共同し屎処理施設の整備、町道の整備推進など逐次具体化しつつありますが、今金小学校の改築工事、豊田橋の掛替え工事等継続事業の推進と、さらには山村振興法による特別開発事業の実施、日進地区共同利用模範牧場建設計画の推進並びに農かい処理施設の実現に努力しなければなりません

わたしどもは　住民の意思を代表するものとして常に世論の現状を把握し、時代に即応した総合的な住民意思の町政反映に努力を重ねたいと存しますので、一層のご支援をお願いするし



（牧場建設予定地）

日進共同模範牧場

四十五年度からスタート

酪農経営の近代化と畜産生産性の高度化を図るため、昭和四十三年度から調査が進められていた「日進地区共同模範牧場事業」は一月十日の町議会で農協が経営を担当することに決まり、四十五年度から、三ヵ年計画で牧場の建設をスタートします。

酪農伸びなやみの解消を

本町は農業を背景に地域社会を形成しており、水田と酪農が二大支柱となつています。

水田は、現在国営直轄かんばい事業により着々と基盤整備が進められていますが、酪農は、近代化計画に基づき年次計画で推進されているものの、乳価、飼料基盤整育成牛飼育の負担過重などの諸問題で伸び悩んでいます。このため町では、この対策をすみやかに解決しようと、四十二年度に日進地区共同利用牧場設置を計画し嘆情を重ねていました。

幸いこの計画は、四十三年五月に承認され、函館開発建設部が千四百万円で調査を実施したところ、地形水利とも牧場に最適とのタイコ判が押され、四十四年度から建設事業を着工することになつたものです。

育成牧場の建設は、開発局が調査設計し、農地開発機械公団が牧場に仕上げます。

五百頭を育成

計画によると、三百三十ヘクタール（うち二百ヘクタールに草地を造成）に畜舎二棟、サイロ六基、尿溜四基、農機具車一棟、看視舎十二棟、乾燥置場二棟などを建設し、施設能力は、優良基礎ひん牛百五十頭、同年育成牛百五十頭、夏期育成牛二百頭の合計五百頭の育成が可能。これに対する総事業費は二億九千万円が見込まれ、このうち国が五十五%、道二十二・五%で残り約六千五百万円を地元（農協）が負担することになります。

この経営に対して町では八年間で二千七百万円を限度として助成し、土地の取得についても三百万円の残額を町が負担、用地内の町有地は無償譲渡します。

搾乳牛の増産と品種改良

完成すると本町の酪農は搾乳牛の増産、品種改良など飛躍的な発展が期待され米作とともに農家経済の安定が図られます。

北海道では、美瑛町と訓子府町につづき三番目となります。

農業センサスに協力を

— 2月1日現在で実施 —

二月一日現在で、全国のすべての農家および林家を対象とし「一九七〇年世界農林業センサス」が行なわれます。

このセンサスは『経済統計に関する国際条約』にもとづき国際連合食糧農業機関が世界各国に呼びかけて十年に一回行なわれる世界的な調査です。

調査は、全国の農林業の実態を正しく調べ、農業生産の向上と農林業に従事する人びとの生活安定をはかるための基礎資料を作成するものです

みなさん周知のようにわが国の農林業は、米の過剰問題をはじめ農林業の構造改善の諸問題、貿易の自由化の問題および地域農業の振興等幾多の困難な問題が農政の前途に山積している現状です。こうした多くの問題をかかえて農政を推進するにあたつて、世界農林業センサスを実施することは今後の農林行政の推進に大きく寄与されるものと考えられます。

近く五十二人の調査員が耕地十アール以上の家および過去一年間に農産物の販売価格が五万円以上の家を訪問して調査にあたりますので、よろしくご協力くださるようお願いします。

また、この調査は統計法に基づく指定統計で、個人の秘密は法律によって守られています。

ご協力ありがとうございました

昨年十月から行なわれました共同募金と歳末たすけあい運動も、町民の皆さまの格別な協力が実を結び、次のような成績になりました。

共同募金は、道協同募金会を通じ、身障者、小児院などの各施設、また歳末たすけあいは町内の生活困窮者、長期入院者に贈られました。

これらの募金によつて、社会的に恵まれない方々が一日も早く社会に復帰、厚生することと思います。

▽共同募金
一七〇、五〇〇円

▽歳末たすけあい
一二七、五六〇円

火災ゼロを願つて

今金消防団出めぞ式



今金八幡宮前でのハシゴのぼり

町消防団恒例の出ぞめ式は、五日美利河、六日花石七日種川、八日今金の各分団で行なわれました。

今金分団では、消防車を先頭に町内を練り歩き、制服に身をかためた団員が終始きびきびした態度でハシゴのぼりに意気盛んなところを披露、火災ゼロを願う町民の信頼に応えるに充分なものがありました。

なお、各分団ごとの出ぞめ式の席上で次　各氏が永年勤続により北海道知事から、また火災予防に貢献のあつた今金、種川、花石、美利河の各婦人防火クラブに道消防協会長から表彰状が伝達されました。

▽二十年以上

猪股清五郎、山石長司、加藤保、橘京二（種川）

▽十年以上

小田島武太郎（今金）遠藤英太郎、安達賢（花石）



妊産婦、乳幼児に栄養食品を支給

町では母子保健指導の一環として、次に該当する世帯の妊産婦、乳幼児を対象に栄養食品FMミルク（一日当り牛乳一本分）を支給しています。

支給期間は、妊婦六カ月産婦三カ月、乳幼児生後四カ月以後九カ月間の計十八カ月です。

役場町民課で取り扱つておりますので、気軽に申し出ください。

▽支給対象世帯

一、生活保護世帯

二、町民税非課税の世帯

三、町民税均等割以下の世帯

四、未熟児である旨医師または保健所長の証明があるもの。

運転免許証更新講習会を開催

運転免許証を新する際更に受ける講習会の日程は次のとおりです。

この講習は、運転免許証の更新を受けようとする方に対して、改正道路交通法を中心とし、安全運転に関する知識、技術を講習し、交通事故の防止を図ることを目的としています。

▽とき　二月十日及び二十四日各午後一時

▽ところ　北桧山公民館

よろこび・かなしみ

（12月分）

◆出生十八名

伊藤江梨子（文一・金原）
吉田哲也（健一・南町）
桜井宏次（茂・東雲町）
笹森誠（留太郎・豊田）
栗谷吉祐（吉一・開運町）
伊藤健次（[illegible]太郎・美利河）
南川さおり（豊・豊田）
天井久美子（清・緑町）
今野幸子（忠・住吉）
川合栄子（義夫・末広町）
守谷直美（幸雄・八幡町）
米田初一（良朗・末広町）
湯元清美（清勝・神丘）
青木栄子（隆・新栄町）
菅又玉美（和久・種川）
山崎英人（信一・南町）
山本匡礼（増美・種川）
渡部清美（祐治・大和町）

◆婚姻十六組

原義正＝斎藤洋子（御影）
天井幸雄＝土田勢津子（開運町）鈴木　＝伊藤昇子（曙町）村上真之＝福司悦子（昭和町）大木一夫＝臼井美菜子（鈴金）平尾俊彦＝柏田勝子（種川）水野勲＝和田喜久江（金原）田畑利雄＝水本邦子（八東）山本豊＝金沢ミヨ（豊田）黒沢克彦＝新保京子（東町）須田英雄＝宮下美代子（金原）千葉喜太郎＝山崎ヨシ子（稲穂）石井紘＝松川真希子（大和町）山寺利男＝山崎寿恵子（日進）菅又光男＝千葉恵美子（末広町）本田清勝＝斎藤貞子（寒昇）

◆死亡八名

成田幸一71（曙町）今野たみ72（末広町）石塚なつ79（大和町）白岩賢一i（神丘）長谷川久太72（日進）島村ふさ81（八幡町）山崎佐市84（旭町）石川ヤサ76（曙町）

窓口メモ

＝印鑑証明＝

印鑑証明とは、印影がかねて居け出てある印鑑と同一であることの証明をいいます。この印鑑証明書は各種契約書の作成や不動産登記申請などに利用され、現実に社会生活の上で重要な役割を果たしています。

印鑑登録の申請及び証明書の交付申請には、原則として本人が役場に行きこの手続きをしなければなりません。しかし、本人がどうしても役場に行けない場合は、本人が自署した委任状（二十円収入印紙貼付）を代理人に託すことができます。この委任状は、代理人となる人が代人の妻子、親兄弟など身内の者の場合でも必要です。